

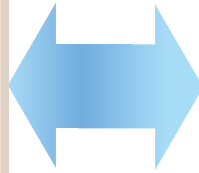
# ユニバーサルデザイン推進のメリット

## 県民のメリット

- 高齢者・障がい者・子ども・外国人・妊婦などさまざまな利用者の視点に立ったものづくり、まちづくりの提案ができるようになる。
- 生活の中で、すべての利用者に対して配慮することができる。

## 企業のメリット

- 消費者ニーズに沿ったものづくりができる。
- 企業としての社会的評価を高めることができる。
- 新たな市場を開拓し、競争力のある製品づくりができる。



# UD

すべての人が  
安全快適に  
生活できる社会づくり

ユニバーサル  
デザインの  
推進は大切な  
ことなんだよ!



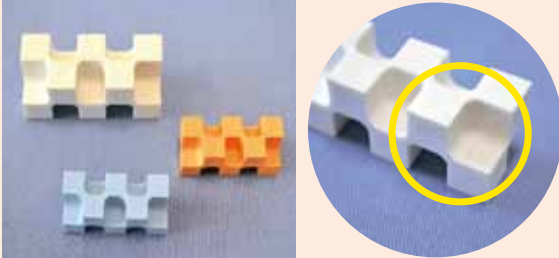
## 鳥取県の役割

- UD(ユニバーサルデザイン)の視点に配慮した行政サービス(接遇・広報・庁舎管理など)をより柔軟に展開することで、人権が尊重される社会づくりを推進することができます。

ユニバーサルデザインについて、  
知ること、実践することで、環境が改善され、  
すべての人が快適に生活できる環境を作ることができる。

# 身の回りのユニバーサルデザイン①

## 消しゴム



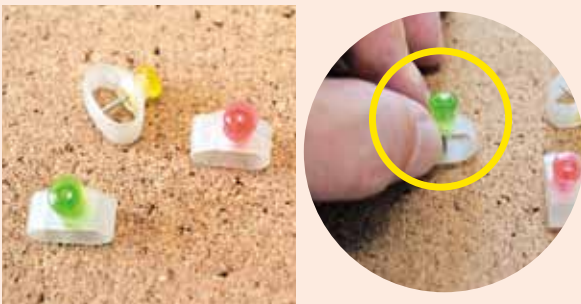
「カド」がたくさんあり、どんなに使っても別の新しいカドで細かい部分をきれいに消せます。

## ノート



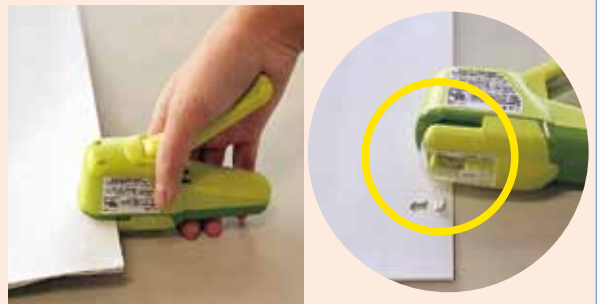
めくりやすい秘密は「ナナメカット」机に置いたままでも簡単にノートをめくることができます。

## 押しピン



柔らかいカバー付きで、針先が指にふれないようになっています。

## 針なしステープラー



とじ位置の確認窓付きで、針を使わずにとじられるようになっています。

## 牛乳パックの切り欠き



牛乳パックには切り欠きがあり、目の不自由な方にも牛乳だとわかります。他の飲料にはありません。また、切り欠きの反対側が開け口とわかります。

## アルコール缶

お酒には点字表記やひらがな表記があり、誤飲防止の工夫がしてあります。また、指をかけやすいようくぼみがあります。



# 身の回りのユニバーサルデザイン②

## 万能オープナー



手の力が弱い方や指先の不自由な方もペットボトルを簡単に開けることができます。

## 水道蛇口のハンドル



ハンドル式はひねる時が重いと感じます。レバー式は、てこの原理で少ない力でひねることができます。

## 現金自動支払機



文字が大きく見やすく、タッチ画面で操作がしやすくなっています。

## UDタクシー



一般のタクシーと同一料金で、買物やお出かけなどにも利用でき、車イス用昇降スロープ等の機能もついています。

## 自動販売機



硬貨を一度に投入できたり、小さい力で返却レバーを操作できるなど、たくさんの機能がついています。

身の回りには、  
UD製品が  
たくさんあるんだなあ  
皆さんも  
見つけてね!



みなさんの身の回りや身近なところでも、まだ数多くのユニバーサルデザインの設計思想でつくられた製品や施設があります。

# ユニバーサルデザイン取組(サービスと情報)

## ◆総合案内◆



## ◆庁舎案内板◆



総合案内は、子どもや車イスを利用される方など、だれにでも対応できるように高さの違う受付カウンターがあります。低い受付カウンターは、足もとが空いているので車イスを利用されている方も利用しやすくなっています。

また、庁舎案内板は文字と絵を組み合わせてわかりやすくしています。

## ◆工事看板◆



## ◆窓口への案内◆



工事看板は、見た人がだれでも工事の内容をすぐに理解できるように工夫することで、工事に対する理解を深めていただく取組を行っています。

窓口までの案内には、目的の場所までの導線をカラーテープで表示することで、お客様が正しい窓口へスムーズに訪れることができるようになります。

## ◆情報ディスプレイ◆



## ◆手話通訳・要約筆記◆



さまざまな情報を多くの人に伝えるため、駅や空港などでは、情報ディスプレイを設置し、催し物の案内などを行っています。

平成25年10月に鳥取県手話言語条例が施行されました。講演会などでは、聴覚障がいのある方の参加に配慮し、手話通訳・要約筆記を行っています。

## ◆ホームページ◆



## ◆SP音声コード◆



県のホームページは、文字の大きさや色使いに配慮し、音声読み上げソフトにも対応させることで、障がいのある方や高齢者などだれもが使いやすいように工夫しています。

啓発冊子などにSP音声コードを入れることにより、専用の機械で読み上げることができます。

# ユニバーサルデザイン取組(施設と環境)

## ◆歩道改良(例1)◆



【鳥取市役所前】

通りづらかった歩道が…

歩道幅を広く改良!

側溝のふたや電柱があって、狭くて通りづらかった歩道が、側溝や電線を地中化したり、車道と歩道との段差をなくすことで、より安全で利用しやすい環境になっています。

## ◆歩道改良(例2)◆



【鳥取駅前】

このわずかな段差が…

車イスの車幅に改良!

車イスやベビーカー、シルバーカーなどを利用するには、わずかな段差が障壁になります。

タイヤが通る幅で段差をけずり、車イス等が通りやすくなっています。

## ◆障がいのある方への配慮(例1)◆



【鳥取県庁表玄関】

体に障がいのある方などが、車に乗り降りするには広いスペースが必要です。車イスなどを利用されている方などが優先して利用できる駐車場には、通路の上にも屋根がついており、雨天の場合でも濡れることなく建物内へ行くことができます。

いろいろ  
取組んでるんだなあ!  
知らなかったなあ!



## ◆障がいのある方への配慮(例2)◆



階段は障壁に!

【鳥取砂丘】

スロープの設置により、車イスを利用されている方などが、砂丘や日本海を一望できます。

# ユニバーサルデザインの普及啓発

## ◆出前授業◆



児童・生徒の皆さんにユニバーサルデザインに対する理解を深めていただく取組として、県と学校が協力し、疑似体験などを交えた「ユニバーサルデザイン出前授業」を行っています。

## ◆出前講座◆



地域住民、民間団体、企業等が開催する集会などに職員が出掛けて、ユニバーサルデザインを分かりやすく説明する「出前講座」を行っています。

## ◆啓発キャンペーン◆



県内で開催される各種イベントなどに啓発ブースを出展し、パネルや製品の展示・体験、リーフレットの配布等を行うことにより、ユニバーサルデザインを知っていただく取組を行っています。

## ◆講演会・体験学習◆



ユニバーサルデザインについて、理解を促すことを目的とした講演会や体験学習などを実施しています。

今度は僕も  
参加するぞお!

